

NPO 宮島ネットワーク  
令和4年（2022）12月例会（令和4年度第5回）議事録

日時 令和4年 12月16日（金）午後3時～4時20分

場所 宮島商工会館 2F 会議室

出席者 11名

挨拶 理事長 エフピコ環境基金の助成で清掃活動が続いている。また、車椅子を使った調査を初めて行った。車椅子での通行は押す人も乗っている人も大変で、土道なのでこぼこやちょっとした段差などが響く。調べたことを改善に向けて提案して行きたい。

### 議題

1) エフピコ環境基金助成事業・海岸清掃⑩ 11/06（日）腰細浦海岸の清掃の結果【資料配布】

参加者 33人（うち12歳未満10人）＋スタッフ11人、計44人

回収ゴミ量 23袋＋発泡スチロール大16個 127.3kg

2) エフピコ環境基金助成事業・海岸清掃⑪ 12/04（日）包ヶ浦海岸の清掃の結果【資料配布】

参加者 35人（うち12歳未満13人）＋スタッフ11人、計46人

回収ゴミ量 29袋＋発泡スチロール大3個 123.9kg

3) 紹介展示： 写真展 宮島をまもる ～NPO 宮島ネットワーク活動紹介⑦～

11/03(木)～12/05(月) モミジ樹の保全活動写真展

・12/06(火) 撤収、無事に終了。

4) 包ヶ浦海岸シバナ説明看板の設置について

・11/26（土）に新しい看板に交換した。【新看板の写真を回覧】

・12/04の清掃時に、新しい看板を紹介した。

・市への完了報告と説明英文が残っているが、ほぼ終了。

・エフピコ環境基金の助成を利用し、看板には基金のマークが入っている。

・次回の看板は10年後か20年後になる。

5) 車椅子ルートの調査について【資料配布】

ア) 11/14（月）車椅子2台を借りて6人で調査。

・大願寺横の身障者用トイレの不具合は市観光施設係へ連絡し修理してもらった。

・調査したルートは、地図に〔通れる：青、援助者が必要：黄、通行困難：赤〕で

記入。記入漏れや誤りを検討しなければならない。

イ) 滝小路と大願寺から大聖院へは2人が調査。山門下まで行けるが、その後は困難。

- ・山門下の身障者用トイレは、アプローチ道が悪く車椅子では使えない。

ウ) ロープウェイ乗り場横の身障者用トイレ

- ・地図によるとロープウェイ乗り場横に身障者用トイレがあるが、車椅子はロープウェイに乗れない、バスも車椅子を乗せたことはない。
- ・ロープウェイ乗り場横に身障者用トイレは確かにあるが、身障者全般用で車椅子利用者は想定していないだろう。

エ) その他の道

- ・木比屋谷への道を車椅子を押していた外国人がいた。

オ) 車椅子の借用について

- ・車椅子両輪の空気圧は使用前にチェックして、悪い場合は車を替えたほうが良い。言えば替えてくれる。→知らない人が多い。
- ・ブレーキが甘いのは人が乗って重くなると分かる。
- ・ブレーキや空気圧の調整は、観光協会がする。職員ができない時は業者へ依頼。
- ・車椅子は観光協会の所有物。購入や整備の費用のほとんどは、利用者からの寄付金。利用した人が募金してくれるのを充てている。

カ) 調査のまとめ方

- ・2月には写真展示、3月からはエフピコ環境基金事業が始まるので、車椅子関連は1月の例会で集中的に協議する。
- ・木比屋谷への道を改修する話がある。1月中旬には完成するのでは？ 追加調査は完成後に行ったほうが良い。

6) アサリ浜の育成について

- ・借用区画の東側の区画について協議。

7) さくらもみじの会の活動について

ア) 12/01 (木) 多宝塔周辺に寒肥を施肥。

イ) 1/14 (土) に藤の棚辺りに寒肥を施肥予定。

ウ) JR 横川駅とフェリー会社などが、1/10 (火) に広島から宮島の清掃を予定。

さくらもみじの会へ協力依頼があり、協力することにした。

- ・参加は団体単位。
- ・宮島では栈橋前から大元公園まで。ゴミの回収袋など宮島の事情は説明した。

8) Tシャツの制作・販売の提案【資料配布】

- ・宮島花火復活を望む図柄の T シャツ作成の提案
- ・あるいは、木比屋谷公園の復活（現状は倒木放置で立入り禁止。倒木が朽ちるまで放置との説も）の T シャツ作成。
- ・協議し、結論は持ち越し。

9) 棧橋前などの照明の強化の提案【11/10 17:30 の商店街入口と棧橋前の写真を回覧】

- ・11 月の午後 5 時過ぎに移動のため集合している修学旅行生が、お互いの顔もよく見えない状態だった。暗すぎて、点呼漏れや置き去りのリスクが高い。もっと明るくしてもらいたい。
- ・棧橋前を明るくして悪い影響は無いはず。冬季の数時間だけ追加照明を点けるようにすれば良い。

10) 神社回りのアオサの除去

- ・除去するほどアオサが増えるかどうか、様子を見る。必要なら神社と相談する。